

議会閉会中の委員会活動

産業建設委員会

現地視察 ● 飛騨高山スキー場の被災施設等について

令和2年 9月29日

飛騨高山スキー場では、もみの木ペアリフトの索道架線4基目と5基目の間あたりから斜面が崩壊し、約200m離れた高速ペアリフト乗り場施設とセンターハウスに向けて土砂が流出し高さ2m前後にも達する堆積となりました。今後の施設の改良復旧とグレンデ復旧についての方向性や考え方について、現場の立地制約にも配慮しどのようにすべきかを委員会としても十分に討議していく必要があると再認識しました。

被災したスキー場を委員会として現地確認した結果、運営再開に向けた課題は概ね次に示すとおりです。



被災した高速ペアリフト乗り場施設

- ・もみの木リフト索道支柱のずれ改修
- ・高速ペアリフト索道機械の新設と上屋施設の改築、電気動力設備の改設
- ・センターハウスの撤去解体および代替機能を移動
- ・既存の土砂災害対象である岩坪谷の流末部分での流水処理、排水側溝の断面性能の向上など
- ・破損した圧雪車1台と人工降雪機数台と保管施設の確保
- ・土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)への法令対応

解決すべき課題は多く、今季の営業は見送る方針の中、来季再開に向けた課題は多く決して容易ではないことを把握しました。

広報広聴委員会

「ちいきミライ箱」から市民意見を

議会では、年一回の地域別市民意見交換会以外に多くの市民の皆様からご意見をいただく方法について、調査研究を進めてきました。その結果、個人情報の管理なども考慮し、意見用紙と専用封筒の入った意見箱「ちいきミライ箱」を設置し、ご記入いただいた意見用紙を専用封筒に入れて郵送していただくことで、どなたでも安心して議会に対するご意見、ご要望、提言などをお寄せいただけます。市役所本庁1階と各支所に設置することとしました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、従来のように多くの市民の皆様にご参加いただく形での地域別市民意見交換会が開催できないため、参加いただくことのできない市民の皆様から議会へのご意見や要望をお寄せいただけるよう、各まちづくり協議会事務所にも設置いたします。

コロナ禍のこんな時だからこそ、特に議会は市民に寄り添い、皆様からのご意見を通じ、「市民意見を市政に届ける」「市民意見を政策の改善に活かす」「政策提言につながる政策の芽をいただく」などを行ってまいりますので、多くのご意見をお寄せください。

